

現地調査 評価表

調査先 ウェスティンナゴヤキャッスル

※色が付いている取組は、特に評価が高かったものです。

評価項目	取組内容
社会全体への波及性	<p>環境パンフレットの制作・配布 当社では2009年7月に環境プロジェクト「ECO LIFE PROJECT」を立ち上げ、あらゆる環境への取り組みをスタートし、外部への情報発信を続けている。 その中で、ホテルの環境取り組みをまとめたパンフレットを作成し、お客様に広く告知。ホテル館内や客室、シャトルバス等への設置をはじめ、営業マンもホテルの案内ツールとして常備。またホテルの月間誌にも毎月環境のコーナーを設け、公式ホームページ等でも常に情報発信を継続。</p>
社会全体への波及性	<p>ロゴマークの使用 ①HP②環境パンフレット等の紙媒体</p>
環境負荷低減の実績	<p>CO2削減の取組【総量：△7.03%原単位(売上高)：6.73%】 ・総排出量 7962.7トン(過去平均(H18～H20))→7403.3トン(H21) ・原単位 1.142t/百万円(過去平均(H18～H20))→1.197t/百万円(H21) 【主な取組】 ・空調設備の間欠運転 ・省エネファンベルトの導入 ・地下駐車場の高効率蛍光灯の導入 ・バックスペースの蛍光灯間引き ・グリーン電力の購入 ・LEDの積極導入 ・井水の有効利用(飲み水もOK) ・ハイブリッド車の積極導入(4台目導入予定)</p>
環境負荷低減の実績	<p>廃棄物削減の取組【総量：△17.22%、原単位(売上高)：△4.97%】 ・総排出量 148.70トン(過去平均(H19～H20))→123.10トン(H21) ・原単位 0.0209t/百万円(過去平均(H19～H20))→0.0199t/百万円 【主な取組】 ・生ゴミの分別徹底(100%資源化実施) ・前年同一催事の料理の残り具合を顧客情報として把握し、料理メニューに反映させて、残渣を減らす取組実施 ・OA用紙の両面使用の定着</p>
先進性・独創性	<p>エコ箸の推進 ホテルで使用する割り箸を順次エコ箸に切り替え中。特にウェスティンナゴヤキャッスルのエコ箸はトウモロコシから作られた環境負荷低減素材「バイオマス(生分解性)プラスチック」を主原料として開発され、土に埋めたとき、微生物により水と炭酸ガスに分解される画期的なエコ箸。</p>
先進性・独創性	<p>環境配慮型天然水「LOHASウォーター」の販売 当社の環境方針を広くお客様に知っていただくため、2010年1月よりホテルオリジナルの天然水「LOHASウォーター」を販売。製造元の奥長良川の会社を通じ、売上の一部が岐阜の森林組合に寄付される。(換算すると1本購入につき約1kgのCO2削減に貢献)</p>
先進性・独創性	<p>フェアトレード商品の導入 COP10開催に併せ、2010年9月より期間限定でフェアトレードのコーヒーをラウンジで提供。またホテル内ショップでもフェアトレード関連商品を販売。市内ホテルでの導入は初となるため話題を集めた。関心のある方だけでなく、フェアトレードを知らないお客様への環境情報の発信ともなった。</p>

評価項目	取組内容
先進性・独創性	エコカー試乗宿泊プランの販売 2010年10月COP10開催期間中、トヨタプリウスPHV(プラグインハイブリッド)に試乗できる宿泊プランを企画販売。同車はまだ一般販売されていないこともあり、ホテル正面玄関に展示中もお客様の関心を集めた。
先進性・独創性	有機野菜収穫体験ツアーの開催 2009年11月地産地消や食の安心・安全をお客様と共に考える「野菜セミナー&収穫体験ツアー」を実施。親子連れなど多くのお客様が参加。
先進性・独創性	環境配慮型のクリスマス演出 環境にやさしいホテルとして、クリスマスの館内装飾も環境をテーマにしたものを採用。2009年はグリーン電力を導入。2010年は本物のもみの樹を使用するが、伐採せず根の付いたまま運搬、設置。終了後は廃棄せず元の山に再植樹する仕組み。照明はLED。
先進性・独創性	社内の啓発活動 ホテルの各セクションにECOソムリエと呼ばれる環境サポーターを育成。彼らがホテル内の省エネやリサイクル活動の指揮をとり環境活動を推進している。また、2010年3月には社員向けにCOP10セミナーを開催し、環境知識を高めた。ISO14001の継続により社員の環境活動について今年7年目を迎えている。
協働性	産学連携による「エコ・パーキング」 2010年6月、名古屋工業大学や民間企業との産学連携事業として、駐車場の緑化を実施。駐車場内に電気自動車の充電器、ソーラーシステム、緑化壁、環境配慮型自販機なども設置したエコステーションとして提案。環境事業普及のための社会実験として今後も緑化による効果の検証等を名工大と協働し実施していく。
協働性	海上の森」里山保全活動 2008年12月に海上の森と企業連携を締結し、従業員による森林整備活動を定期的に(年2回)実施。間伐を中心とした人工林の整備を行ない、これまで計4回、延べ150名が参加。将来は自然体験のフィールドとしても活用する予定。
協働性	環境循環型野菜「おかえりやさい」 当社が運営する二つのホテルから出る生ごみは年間約300t。そのすべてを100%堆肥化し、その堆肥で作られた野菜をホテルが仕入れ調理しお客様に提供する。この循環型野菜の仕組みは市民、NPO、事業者らの連携で発足した「おかえりやさいプロジェクト」でスタートし、当社もそのプロジェクトに参加。
協働性	廃棄椅子のリユース活動 2009年8月、ホテルのチャペル改装に伴い廃棄するはずの木製の長椅子18脚を、刈谷工業高等学校と愛知県旭高原少年自然の家に寄贈し、図書室などで活用いただく。
協働性	コップなごや水基金 ホテルで提供する飲料水は木曾川が源流であり、名古屋市のこの水は全国的にも美味しいことで有名。2010年7月、通常無料で提供しているこのお水に対して感謝をこめ、お客様に気持ちばかりの寄付金をテーブルに置いていただく活動をスタート。寄付金は木曾川流域の環境保護と活性化支援に役立てられる。
協働性	地域団体等の呼び掛けに応じ、清掃活動に参加 ・環境デー「全市一斉クリーンキャンペーン」 ・堀川一斉大掃除

<総括>

各部署に「エコソムリエ」と呼ばれる環境担当者を配置するほか、バイオマスプラスチックを活用したエコ箸の導入、駐車場緑化、社員による海上の森の保全活動など様々な環境活動を実施している取組が高い評価を受けました。